

経営比較分析表（令和6年度決算）

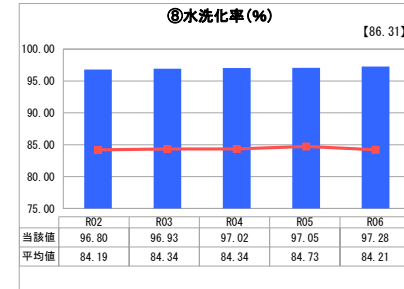
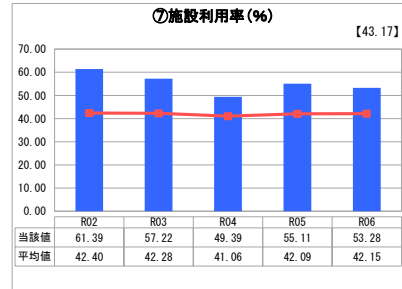
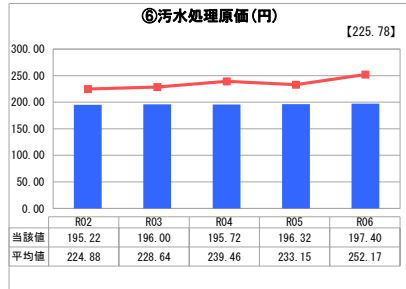
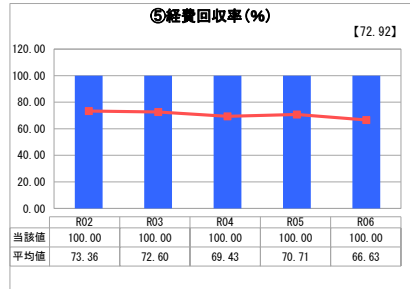
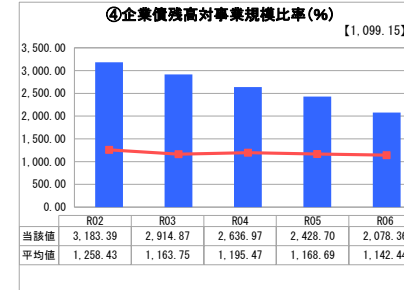
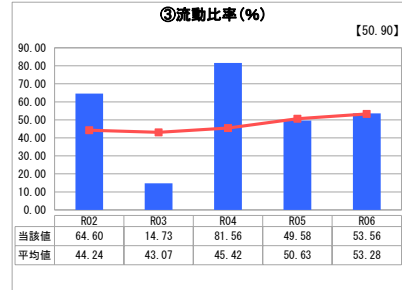
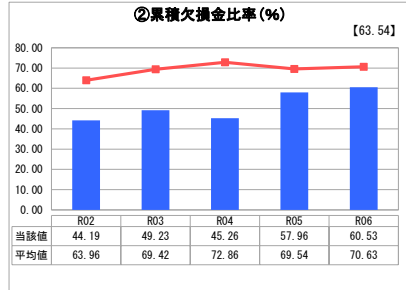
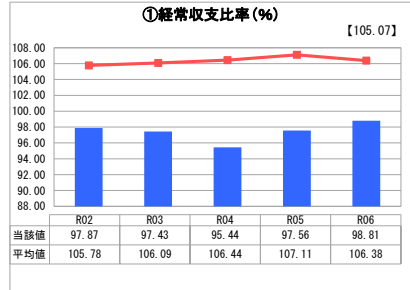
岡山県 備前市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	75.15	11.88	99.17	3,872

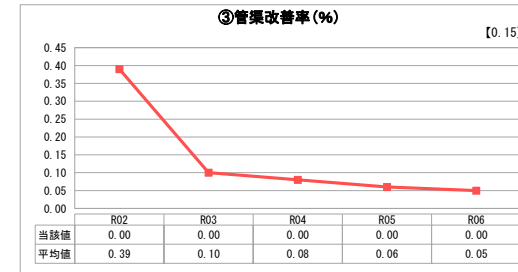
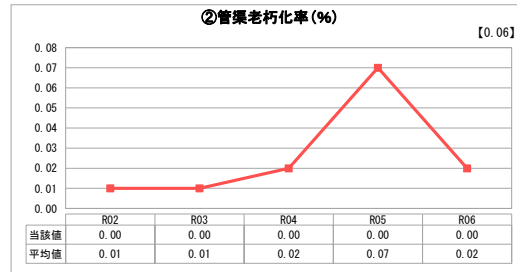
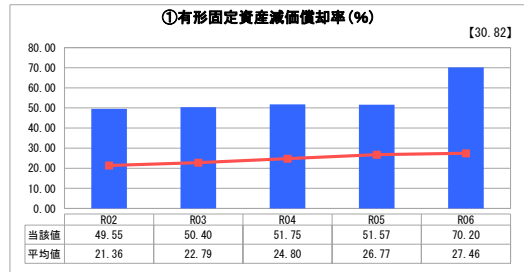
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,816	258.13	119.38
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,639	1.78	2,044.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、一般会計繰入金により、概ね100%を維持している。
- ② 累積欠損金比率は、前年度と比べて悪化し、依然として欠損金を抱えていることから、経営改善の必要がある。
- ③ 流動比率は、前年度と比べ若干改善している。経費削減に努めていく。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業借入金償還額を下回ったため前年度と比べて改善しているが、使用料収入は減少しており、収入の確保に努める必要がある。
- ⑤ 経費回収率は、横ばいであるが、使用料収入は減少しており、収入の確保に努める必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価は、ほぼ横ばいである。経費削減に努める。
- ⑦ 施設利用率は、ほぼ横ばいで推移しているが、人口減少に伴い減少傾向にある。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均値と比べても高い水準にある。引き続き未接続世帯への周知を図り、水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べて高いが、顕著な問題はない。ただし、老朽化に伴う修繕の増加とともに、ストックマネジメント計画における機械施設の更新も予定していることから、財源確保に努める必要がある。

全体総括

安定的な運営を図るため、H28年度に策定した経営戦略(R7改定予定)により経営改善に努める。具体的には、企業債を活用、未接続世帯の解消を促進、使用料収入の確保、施設等の長寿命化や計画的な更新、修繕計画の策定、費用の平準化を図り、経営改善に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。